

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年 6月27日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市中央区南3条西10丁目1001番地5

福山南三条ビル8階

氏 名 地崎道路株式会社北海道支店

取締役支店長 高橋 勝之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-231-2702

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	地崎道路株式会社北海道支店 千歳営業所
事業場の所在地	札幌市中央区南3条西10丁目1001番地5 福山南三条ビル8階
事業の種類	0631 舗装工事業・0621 土木工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	1,100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

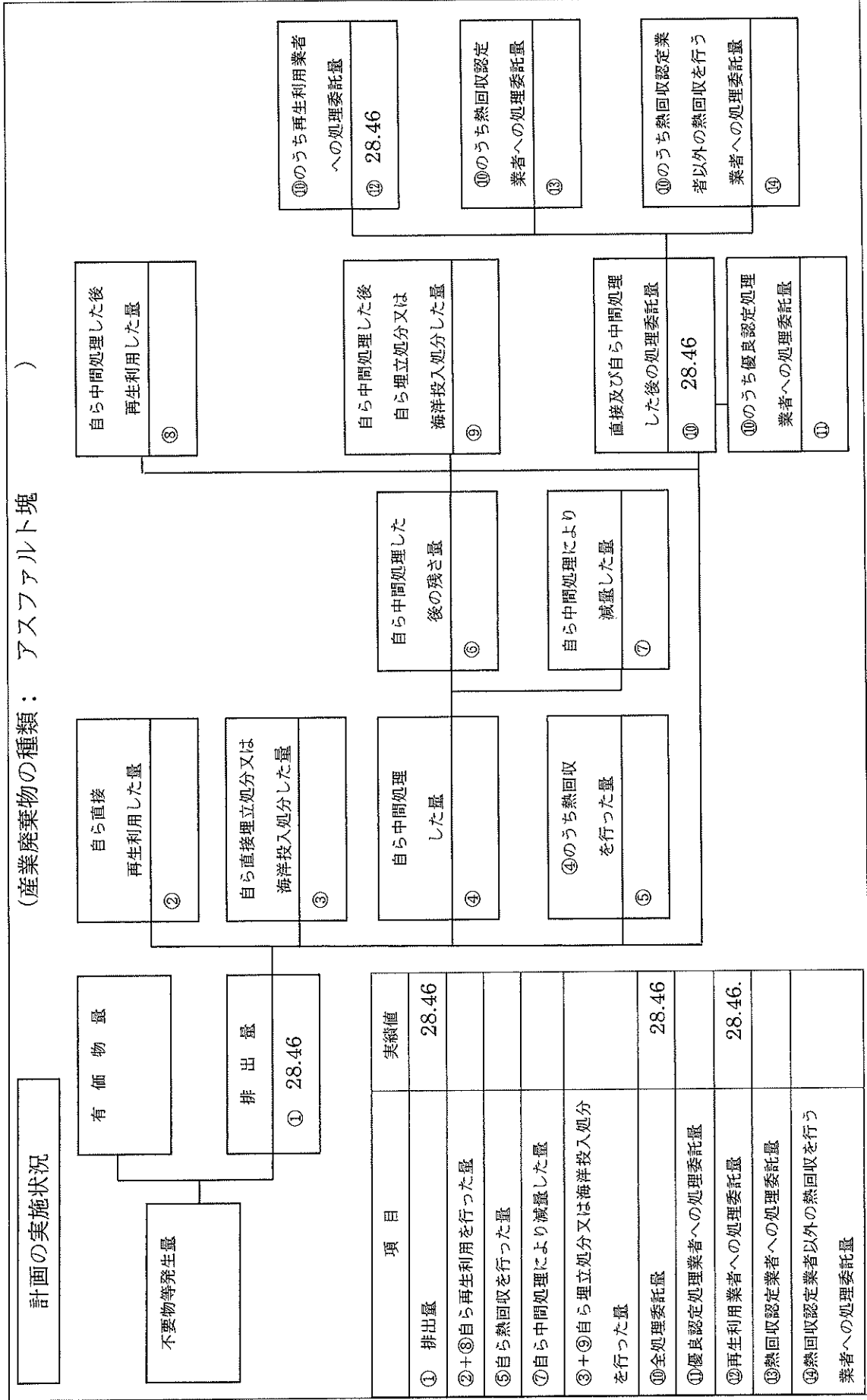
※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

-4.6.27



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：アスファルト塊)



自ら中間処理した後
再生利用した量
③

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ 28.46

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量
⑭

自ら直接
再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥

自ら中間処理
した量
④

自ら中間処理により
減量した量
⑦

④のうち熱回収
を行った量
⑤

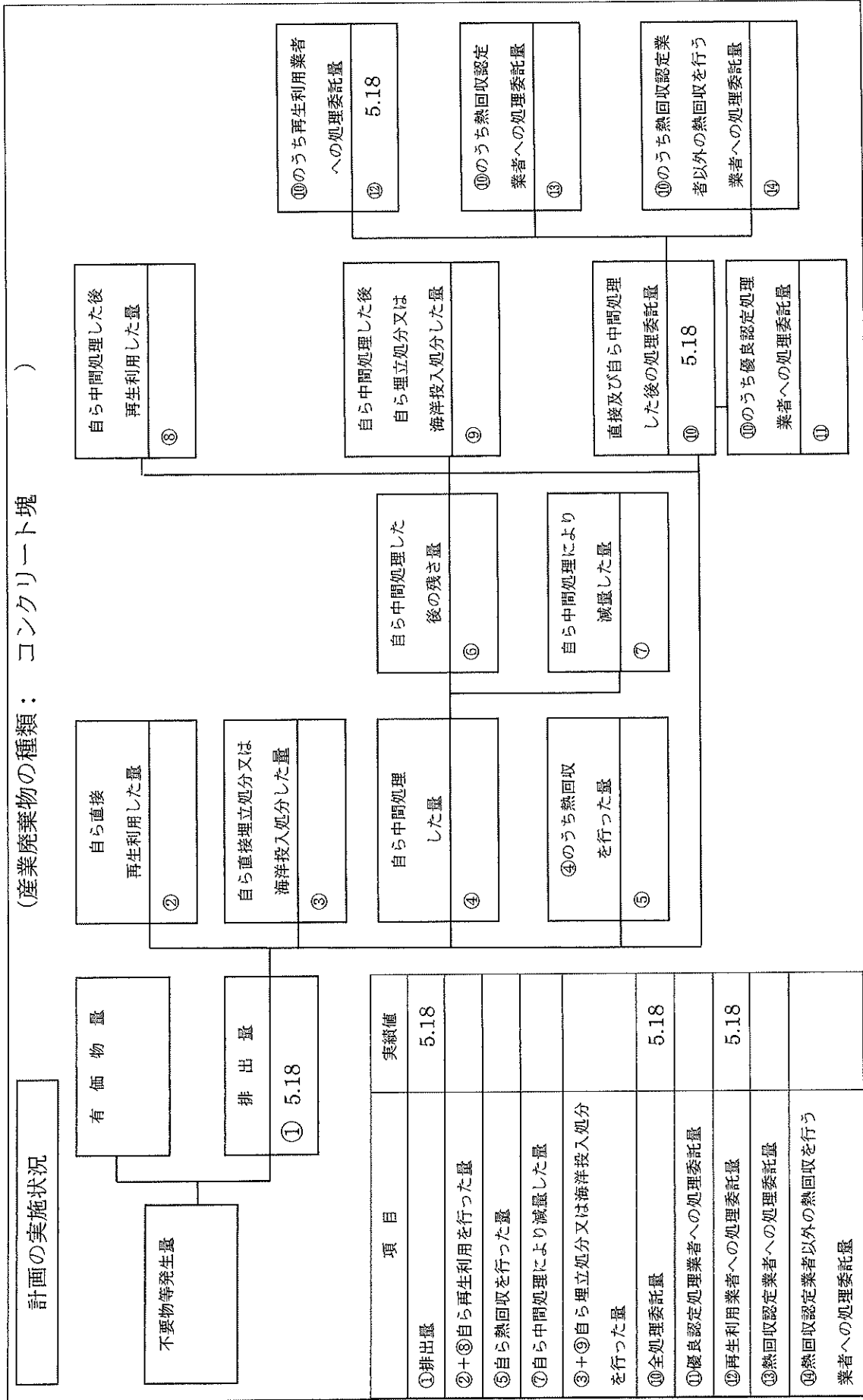
有価物量

排出量
① 28.46

不要物等発生量

項目	実績値
① 排出量	28.46
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	28.46
⑩優良認定処理業者への処理委託量	
⑩再生利用業者への処理委託量	28.46
⑩熱回収認定業者への処理委託量	
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(産業廃棄物の種類：コンクリート塊)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

① 現状【令和3年度 実施】 対象地域【札幌市】 対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	廃プラスチック	建設汚泥	建設系混合廃棄物	木くず	一般廃油	その他がれき類	金属くず	合計
排出量	28.46	5.18	0	0	0	0	0	0	0	33.64
全処理委託量	28.46	5.18	0	0	0	0	0	0	0	33.64
再生利用者への処理委託量	28.46	5.18	0	0	0	0	0	0	0	33.64

② 計画【令和4年度】 対象地域【札幌市】 対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	廃プラスチック	建設汚泥	建設系混合廃棄物	木くず	一般廃油	その他がれき類	金属くず	合計
排出量	1,000.00	70.00	5.00	1.00	12.00	4.00	1.00	5.00	2.00	1,100.00
全処理委託量	1,000.00	70.00	5.00	1.00	12.00	4.00	1.00	5.00	2.00	1,100.00
再生利用者への処理委託量	1,000.00	70.00	5.00	1.00	12.00	4.00	1.00	5.00	2.00	1,100.00